

山 和希

Yama Kazuki



## Q.仕事のやりがい

本局・特別主計実地監査官では、予算執行調査（国の事業が適切に実行されているかどうかを全国規模で調査し、予算に無駄がないかを調べるもの）を行っています。この調査では、財務局職員が財務省の担当部署に対して、調査対象とする国の事業を提案することができます。そのため、提案が採択されれば、全国規模で自身の関心のある事業の調査を行うことができ、大きなやりがいがあります。

富山財務事務所・理財課では、富山県内の金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、金融商品取引業者等）の監督を行っています。金融のプロの方々とは議論を重ねる日々は、非常に新鮮で充実感を得ることができるとともに、自身の成長に繋がっていると実感しています。



▲打ち合わせの様子



▲趣味のマンドリン

## Q. 当局の魅力

当局の魅力として真っ先に思い浮かぶものとしては、ワークライフバランスが重視されていることです。

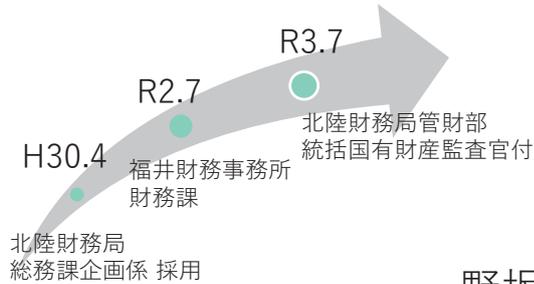
休暇はととても取りやすい環境で、私は基本的に月1日以上休暇を取得し、今年の夏には9連休を取ることができました（ちなみに当局では年間16日以上の休暇の取得が推奨されております）。また、テレワーク環境も整っているほか、フレックスタイム制度も多くの職員が活用しております。

仕事だけではなく、きちんとプライベートの時間も取りたいという方にはおすすめの職場だと思います！

## Q. 受験生へのメッセージ

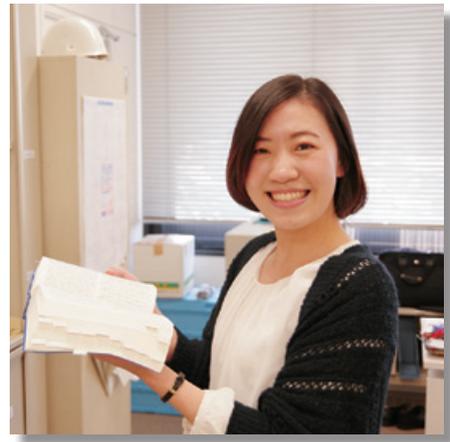
就職活動中、様々な官公庁や会社の業務説明会が開催されると思いますが、できる限り積極的に参加してみてください。パンフレットからは手に入れることのできない情報を得ることができますし、「この官公庁（会社）、こんな仕事をしているんだな…」という気づきが後々になって役立つこともあります。初めのうちは、できる限り就職先の選択肢を絞らず、広い視野を持つということも大切なことだと思います。

そして、ぜひご関心があれば、北陸財務局の説明会にもお越しいただき、財務局の業務や魅力などをさらに詳しく知っていただけると嬉しいです！



野坂 美月

Nosaka Mizuki



## Q.仕事のやりがい

自分が行った仕事で「地域に貢献できている」と感じる瞬間がやりがいです。一番分かりやすいのは、新聞に掲載されたり、テレビで報道された時です。日々の小さな業務の積み重ねの結果、こういう形で自分の仕事が残ることはやっぱり嬉しいですし、「こんな自分も何かの役に立てたんだ!」と実感します。メディアに取り上げていただけるということは、それだけ世の中の関心があるということだと思います。そんな業務が財務局にはたくさんあって、自分もその一員として地域の力になれることがやりがいです。

また、自分の成長もやりがいの一つです。「仕事を通して何が学べるか、どう成長できるか」という点も仕事を選ぶ上では大事ですね。財務局では、ある程度分野が絞られていながらも多岐にわたる業務が経験できます。さらに、若いうちから主担を任せてもらえる機会もあります。最初は不安になりますが、研修や周囲の手厚いサポートをいただきながら、徐々にできることや知識を増やして成長につなげることができるので、次は何ができるようになるかな、と個人的に楽しみでもあります。

## Q.勤務地について

私は福井県出身で小さい頃から石川県や富山県によく遊びに行っていたので、漠然と「北陸に貢献できる仕事がしたいな」と思っていました。そんな時に出会ったのが北陸財務局でした。北陸3県(福井県、石川県、富山県)を管轄エリアとする北陸財務局は、広すぎず狭すぎず、エリアごとの連携もとりやすいので「北陸で働きたい!」という方にはピッタリだと思います。

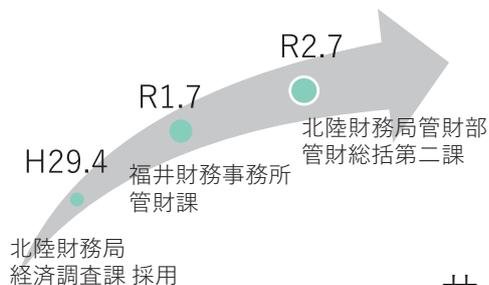
実際に、私は3年目に本局(石川県)から福井財務事務所への異動を経験しました。業務も人も場所も変わるということは、再び新規採用者になったようで不安もありましたが、職場の方は優しくて頼りになる方ばかりで心配無用でした。また、住む環境が変われば価値観も変わりますし、地域の特性や魅力も深く知ることができる良い機会になりました。



▲打ち合わせの様子

## Q.当局の魅力

財務省や金融庁などの中央省庁へ出向できる機会があったり、様々な研修プログラムが用意されているなど、入局後もいろいろなキャリアパスが広がっていることが魅力の1つです。今は希望していなくても、働き始めてから考えが変わることもあるので、自分が「挑戦してみたい!」と思った時に挑戦できる環境と、選択肢があることは当局の強みだと思います。



井上 真理乃

Inoue Marino



## Q.当局の魅力

「財務局」の魅力と言われれば、業務（金融、管財など）と勤務地（管轄地域と東京など）の選択肢の多さだと思いますが、「北陸財務局」の魅力は働きやすさだと思います。仕事においては、若手のうちから自分が主担となる仕事を任せられますが、分からないことがあるときには、丁寧に教えてくださる優しい方ばかりなので、困ったときはすぐに頼れる素敵な職場です。そんなに大きな組織ではないので職員同士の距離が近く、仕事以外の話もしやすいので、業務終了後に雑談をしていたら30分経っていた…！なんてこともよくあります。仕事は決して簡単ではなく、つらく感じる時もありますが、周りの方々のおかげで楽しく働くことができます。

また、仕事とプライベートの両立がしやすく、休暇も取得しやすいので、長期休暇を取ってゆっくりと旅行に行くこともできます。



▲趣味のダイビング



▲図面庫での様子

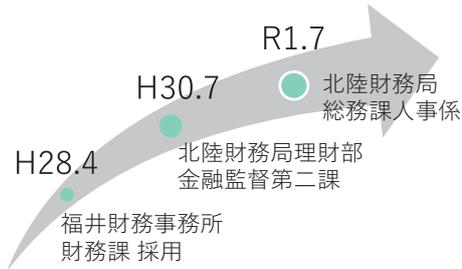
## Q.入局前後の印象

本格的に就職活動をする前は、「公務員＝お堅い仕事、ほぼパソコンに向かっている事務仕事メイン」というイメージでしたが、業務説明会や職場訪問を経て、事務仕事ではない業務が多いということ、職員の方は明るくて優しい方が多いのかなという印象に変わっていきました。実際に働いてみて、確かにパソコンとにらめっこする時間もありますが、業務によっては外に出る機会も多く、業務内容の幅広さを改めて感じています。また、職員も本当に優しい方ばかりで、入局前後の印象に大きなギャップはありませんでした。

## Q.受験生へのメッセージ

公務員試験はどうしても勉強がメインになりがちですが、時には息抜きをしながら、志望先について考える時間も作っててください。そして志望先を考えると、「どんな仕事をしたいか」も大切ですが、「どんな職場で働きたいか」もイメージしてみてください。「楽しい職場がいい！仕事も頑張りたいけど、プライベートも充実させたい！」そんなイメージが湧いたら「北陸財務局（財務専門官）」、おすすめです。まだ漠然としたイメージしか浮かばない方もいると思います。そんなモヤモヤを解消するための機会が業務説明会なので、ぜひ様々な説明会に参加していただき、業務内容を知るだけでなく、パンフレットでは伝わりにくい職員の雰囲気も感じてもらい、いろいろな選択肢を考えてみてください。

内定がもらえるまでは不安な日々が続くかもしれませんが、気を強く持って最後まで頑張ってください！



久木 亮

Hisagi Ryo



## Q.入局前後の印象

財務省といえば予算や財政という言葉の思い浮かべていましたので、デスクワークが中心で四六時中数字を追いかけているのかなという印象でした。実際に入局してみると、最初に配属された経済調査業務では、電話対応や資料作成のデスクワークがある一方、現地に足を運び多くの企業を訪問させていただき、庁舎外での業務も意外と多いなという印象を受けました。

## Q. 仕事のやりがい

福井財務課では福井県の経済の現状や先行きについて、各種統計データや地元企業を直接訪問して得られる現場の生の声をもとに分析を行い、「福井県経済情勢報告」としてとりまとめを行いました。自分で調査・聞き込みをした内容が新聞やテレビで報道されたときには、すごくやりがいを感じました。

金融監督第二課では、北陸管内の信用金庫、信用組合、労働金庫などの協同組織金融機関の監督を行っていました。地域経済の発展には地域金融機関の存在は欠かせません。必要な金融上の支援が地域の方々に行き渡るよう金融機関の方々と対話を行うなど、財務局でしか携わることができない業務にやりがいを感じました。

現在、総務課人事係で主に給与支給事務と採用活動を担当しています。総務系統の仕事は一見地味なものが多いですが、職員が生き生きと業務に励むためには欠かせない仕事です。

## Q. 当局の魅力

「将来的には北陸にいたい中央省庁での勤務も経験してみたい」と考えている私にとって、財務本省、金融庁への出向制度が設けられていることや、若手のうちに複数分野（財政、金融、経済調査など）を経験しながら、将来的に自分自身が向いている専門分野を絞っていくことなど、キャリアパスが明確になっていることが魅力の一つだと思います。

また、財務局の業務は一定の専門性を必要としますが、入局後の基礎研修や業務別研修など研修制度が充実しており、職場での不安や戸惑いも特段なく業務に取り組むことができます。その他、組織全体としてもテレワークやフレックスタイム制度などの活用が推進されており、柔軟な働き方が可能です。

## Q. 部活動

北陸財務局には野球部、サッカー部があります。その他にも、局内の有志が集まりテニス、バスケットボール、マラソンなどのサークル活動を行っています。業務では関わりのない職員と知り合えるため、職員同士の交流の場ともなっています。

野球部は金沢ゴールデンリーグ連盟に加盟し、早朝野球のリーグ戦に参加しています（試合開始は午前5時30分）。また、4つの財務局での対抗戦「四局野球大会」も毎年開催されており、優勝を目指して頑張っています。



▲四局野球大会